

むぎうだ しゅん  
麥生田 駿 (樟南高校3年) 2004年2月15日生

樟南高校 未来創造コース3年2組 / 右投げ左打ち / ファースト  
県大会予選の成績▶6試合出場 / 24打数8安打 / 打点4 / 打率333  
身長175cm / 体重75kg / 田代小学校・田代中学校卒 / 表木自治会



# 樟南高校 麥生田 駿

Syun Mugiuda

強豪樟南で4番を任せられ優勝に貢献。  
甲子園常連の樟南が5年ぶりの出場。

8月の風物詩「夏の甲子園」。  
新型コロナウイルスの影響を受け、戦後初めて中止されたあの夏から1年が経ちました。  
47都道府県3603校の頂点を決める高校球児の夢舞台。5年ぶり20回目の  
出場を決めた、鹿児島代表の樟南高校で4番を任せられる錦江町出身の麥生田駿  
選手が、少年時代から夢見た日本一への挑戦を特集します。

戦後初めて中止さ  
れた夏の甲子園から  
1年。2年ぶりに開催  
された全国高校野球選手  
権鹿児島大会での決勝は、  
「伝説の一戦」とも言われる  
鹿児島実業と、互いに20回目的  
出場をかけた一戦となりました。  
打線の前評判が高い第3シードの  
鹿児島実業でしたが、多彩な変化球  
を操る先発左腕のエース西田投手が  
7安打無失点で完封。守備陣も無失  
策と堅い守りを見せました。打って  
は15安打と高い攻撃力も発揮し、隙  
のない守りと、切れ目のない打線で  
5年ぶりに優勝。夏の甲子園20回目  
の出場は県内最多となります。

高校球児の夢舞台、甲子園の常連  
校でもある樟南高校で4番ファース  
トを任されているのが、錦江町出身  
の麥生田駿選手。決勝進出をかけた  
れいめい戦では、持ち味の粘り強い  
バッティングが光りました。6回ま  
でもとにも0点と息の詰まる投手戦が  
続くなか、7回に樟南が1点を先  
制。さらに8回には駿選手が2死満  
塁からライト前に2点タイムリーを  
放ち、この回に一挙4点を加え勝負  
を決めました。野球部員50名の樟南。  
「駿は誰よりも練習してきた」と山  
之口監督は力を込めます。中学卒業  
後は故郷を離れ、寮生活を続けなが  
ら野球に打ち込みました。少年時代  
から夢見た甲子園。すべてを野球に  
費やしてきた高校3年間の集大成。  
祖父母と始めたキャッチボールと、  
田代での野球生活が駿選手の原点と  
両親は目を細めます。高校最後の夏。  
苦楽をともにした一生の仲間と挑む  
悲願の甲子園までの道のり、駿選手  
のこれまでの歩みを振り返ります。

錦江町出身の麥生田駿選手（樟南高校）が

# 甲子園出場決定

2年ぶりの開催となる第103回全国高校野球選手権大会

全国高校野球選手権鹿児島大会の決勝 対鹿児島実業戦5回裏樟南無死、麥生田駿選手がライト前ヒットを放つ  
令和3年7月26日（平和リース球場） 南日本新聞社提供